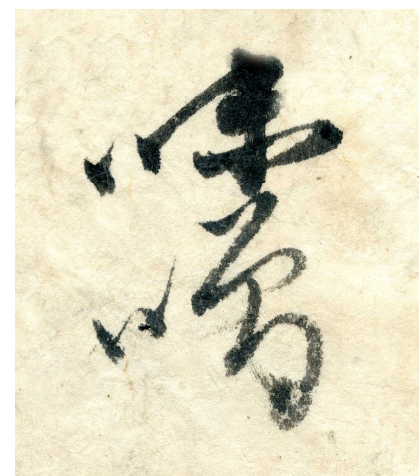
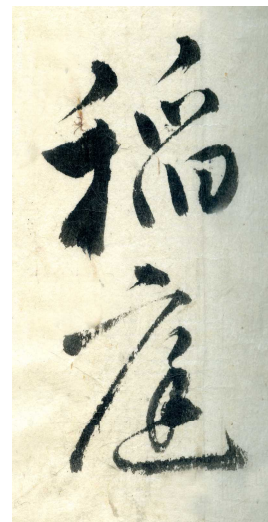
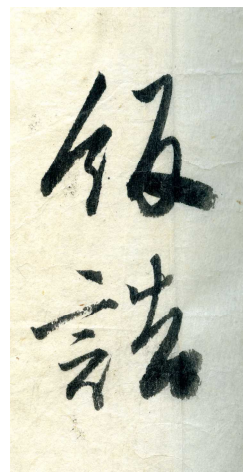
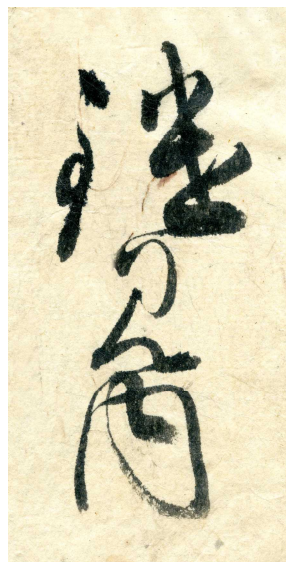




令和7年度 秋田県公文書館講座

古文書解読講座(入門編)

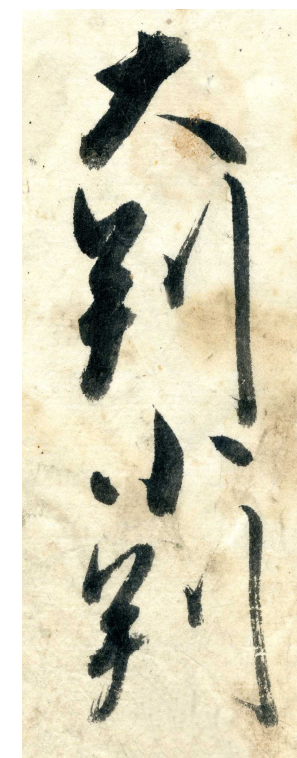
第1回・第2回

テキスト 混架18-160「安政二卯年十月二日 江戸地震記録」より

鼠小僧次郎古尋問書写

古文書チーム 畑中康博

江戸地震記録より
鼠小僧次郎古尋問書写



■まずはウォーミングアップ

練習1 言い回しに慣れましょう〜文末編		
候	そろろう	です。ます
有之候	これあり候	あります
無之候	これなく候	ありません
御座候	ござ候	ございます
無御座候	ござなく候	ございません
致候	いたし候	します
仕候	つかまつり候	くです
不致候	いたさず候	いたしません
不仕候	つかまつらず候	ではありません
致居候	いたしおり候	くしております
致度存候	致したく存じ候	くしたいと考えています
致間敷候	致すまじく候	してはなりません
可被成下候	なし下さるべく候	なさって下さい
相成候	あいなり候	なります。なりました
可相成候	あいなるべく候	なるでしょう
申候	申し候	申します
申上候	申しあげ候	申し上げます
候得共	そうらえども	くではありますが
候処(所)	候ところ	くですが
候ハハ	そうらわば	くでありますなら
候得者	そうらえば	くでありますなら
候間	候あいだ	くまでの
候由	候よし	くだそうです

練習2 言い回しに慣れましょう〜文中編		
被仰付	おおせつけられ	
可被仰付	おおせつけらるべく	
可致	いたすべく	
不及	およばず	
無之	これなく	
無抛	よんどころなく	
有之	これあり	
於久保田	久保田において	
於有之	これあるにおいて	
就中	なかんずく	
被為仰付候	おおせつけさせられそうろう	
為後日	ごじつのため	

練習4 江戸の三貨制度を覚えておきましょう

〈三貨制度〉		
金貨 (小判)	1両 = 4分 = 16朱	計数貨幣
銀貨	1匁 (3.75g) 1, 000匁 = 1貫 (貫目)	秤量貨幣
銭貨	1000文 = 1貫文	計数貨幣
〈三貨の流通域〉		
江戸を中心とした東日本 (金遣い経済圏)		
京・大坂を中心とした西日本 (銀遣い経済圏)		
全国 銭貨 日常の小額決済に用いられる		
〈交換レート〉 - 毎日相場が変動 -		
江戸初期	金1両 = 銀50匁 = 銭4貫文	
江戸中期	金1両 = 銀60匁 = 銭5貫文	
幕末	金1両 = 銀150匁 = 銭10貫文	



練習3 江戸の時刻に慣れましょう

練習5 旧国名を覚えておきましょう



練習6 言い回しに慣れましょう実践編

俗ニ鼠小僧ト申候
盗賊ニ相当候もの

無宿
異名
次郎大夫事
入墨 次郎吉
三拾六歳

右之者怪敷趣相聞候ニ付、召捕、相尋候所、先達て
中より度々御沙汰有之候御屋形向、其外諸
家奥向并長局等え拾ヶ年已前より数ヶ処え忍入、
金子盗取候旨左之通申立候。

八九年已前、八月十六日土蔵戸前え
網戸下板ヲ鋸ニて引切、金四百二拾三
両盗取候由。 戸田采女正殿

当四月中、奥向え忍入、金三拾八両
程盗取候由。 細川長門守殿

去卯年十二月頃、奥向え忍入、金百
八拾両程盗取候由。 仁賀保孫九郎殿

同年八月頃、奥向え忍入、金三拾両
程盗取候由。 前田大和守殿

同年三月頃、奥向え忍入、金四拾両
程盗取候由。

松平河内守殿

同年八月九頃、奥向え忍入、金七八拾
両程盗取候由。

本多大隅守殿

同年春頃、奥向え忍入、金三拾両程
盗取候由。

溝口信濃守殿

同年五月頃、長局え忍入、金三拾両
程盗取候由。

六郷兵庫守殿

同年三月頃、深川中屋敷奥向
え忍入、金五拾両程盗取候由。

松平和泉守殿

拾ヶ年程已前冬頃、長局え忍入

田安殿御屋形

金四拾両程盗取候由

拾ヶ年程已前、長局え忍入、金三両

程盗取、四五年已前奥向え忍入、両度
金三拾八両程盗取候由。 松平大和守殿

■くずし字を読んでみましょう

[1]

吾之者怪其處在平山より古捕太早より其安在
中よりなく、少沙法より、市屋形向より、代
家奥向より、長弓字に、おろ、前より、おろ、霞より、入
るより、空より、おろ、たより、通より、まよ

倍に氣小僧トヤ
三六歳

三六歳

す宿
入墨
次々吉

八九日己未八月十六日土着戸前口
細戸下板ヲ鋸リ引切金四角如左
有次所由

戸田米処

常四月中奥向ト申入色三度有
程終ル由

細川長門書版

去々〇三月次奥向ト申入金百
〇板有程終ル由

仁賀保孫書版

リ〇八月次奥向ト申入色二度有
程終ル由

前田大和書版

リ〇三月次奥向ト申入色二度有
程終ル由

松平河内書版

リ〇八月次奥向ト申入色七度
有程終ル由

本多大隅守版

リ〇去々次奥向ト申入色三度有程
終ル由

海口辰世書版

リ〇五月次長局ト申入金三度有
程終ル由

六郷無庵書版

リ〇三月次保川中屋次奥向
ト申入色二度有程終ル由

相馬新島書版

有〇程と云々去々次長局ト申入
色四度有程終ル由

田安殿書版

有〇程と云々去々次長局ト申入色三度

程公以爲此
程公以爲此

此字之長局江東又急於此

常月木乃叔與乃止少又金富
程氏乃乃由

おのゝちのむかへに
入るゝ三度又都合ふ

秋原長局
 入

新編 程氏學問

所々
程々
長局
又々
有外

糸をきき
 程は九以内
 ねの程は五
 長ろん
 又色も

種之なりは
いふのさあせむく也又色云々程迄

去々字の中奥向は又字の所爲

七つの子を翼白くし又金加ふ程迄元角

松平大和雪成

相與在激怒處

小堀織部

一於廟廟

松平陸奥守

清水居唐氏

松平何子侯

其馬其馬其馬

長沙鄧雨屋

小立原太郎

相平甲申乙未

ある程はなれしや
さういふ言ひは、
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや

物や付あは
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら

ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや

相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら

ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや
ある程はなれしや

相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら
相平は作ら

七つのおちきくまふくろく

長く

有公西又者必色七事作此九丁由

きつめりちちとちふ又都合

卷七 藝文 三

ハルノミチヲモリテ又モリテモリテ

ハカシニオカキテヨク考ル云々金大句

井茶の片をくちや
又茶をくちや

三

孝子秋原長局口琴入金初多程

卷之四

[illegible]

程公允下。與令之。少又。名之。以。之。

李德全

三〇五 七ノ五 加印書 從 弘 元 由

三つのお宝を、王が受け取り

卷之二

[illegible]

程子

[illegible]

杉本 照久

相與同懷也

松子之經年

井田抄

佐竹口京之屋

古之遺訓也

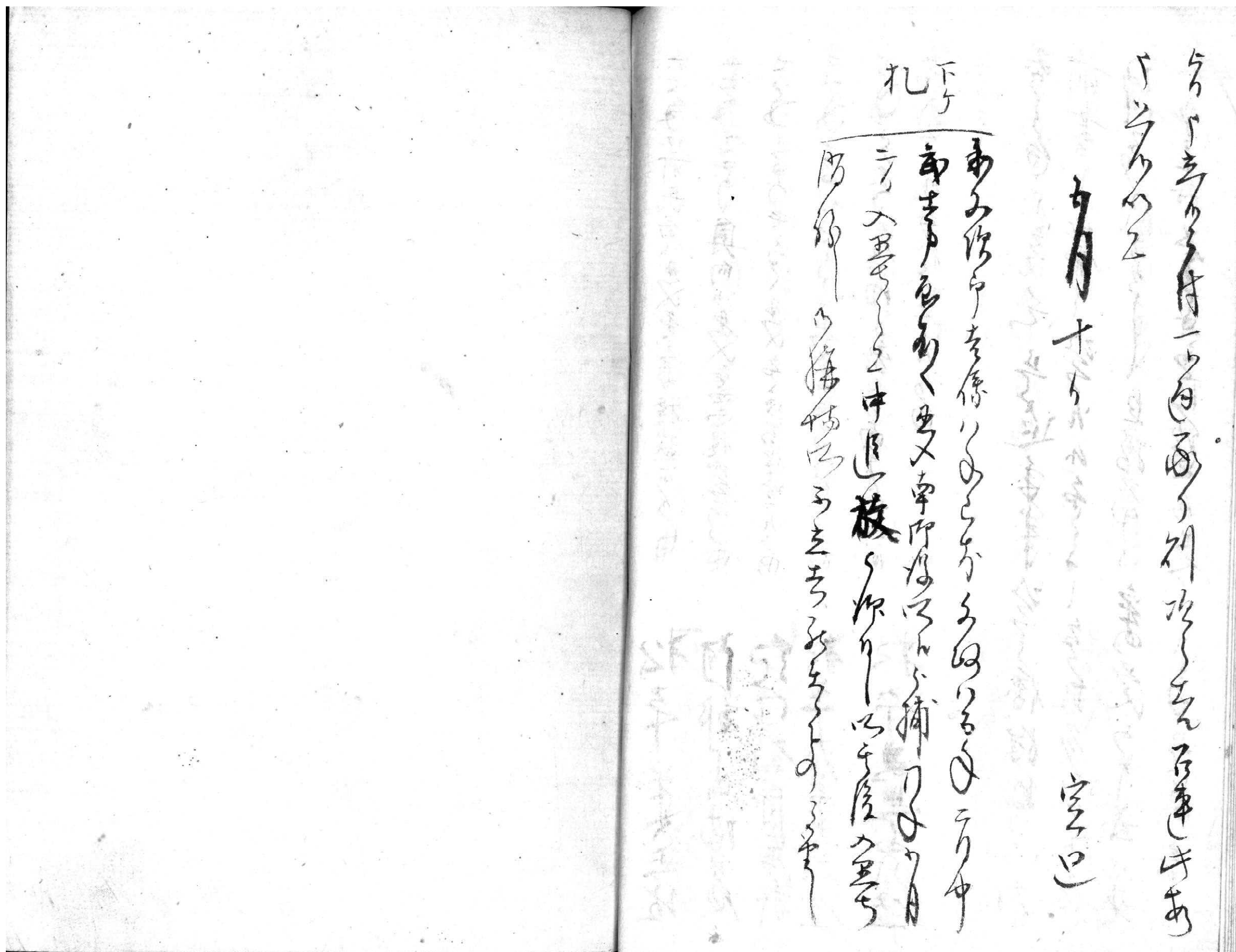
中書省

陽石之

権のん

少高以書

乃りや、秘かに、萬の



鼠小僧次郎吉口上書覚 解答

〔1〕

無宿

異名

俗ニ鼠小僧ト申候

次郎大夫事

盜賊ニ相当候もの

入墨 次郎吉

三拾六歳

右之者怪敷趣相聞候ニ付、召捕相尋候所、先達て中より度々御沙汰有之候御屋形向、其外諸家奥向并長局等え拾ヶ年已前より数ヶ処え忍入、金子盜取候旨左之通申立候。

〔2〕

八九年已前八月十六日土蔵戸前え
網戸下板ヲ鋸ニて引切、金四百貳三拾
両盜取候由。 戸田采女正殿

当四月中奥向え忍入、金三拾八両
程盜取候由。 細川長門守殿

去卯年十二月頃奥向え忍入、金百
八拾両程盜取候由。 仁賀保孫九郎殿

同年八月頃奥向え忍入、金三拾両
程盜取候由。 前田大和守殿

同年三月頃奥向え忍入、金四拾両
程盜取候由。

松平河内守殿

同年八月頃奥向え忍入、金七八拾
両程盜取候由。

本多大隅守殿

同年春頃奥向え忍入、金三拾両程
盜取候由。

溝口信濃守殿

同年五月頃長局え忍入、金三拾両
程盜取候由。

六郷兵庫守殿

同年三月頃深川中屋敷奥向
え忍入、金五拾両程盜取候由。

松平和泉守殿

拾ヶ年程已前冬頃長局え忍入、
金四拾両程盜取候由。

田安殿御屋形

拾ヶ年程已前長局え忍入、金三両

〔3〕

程盜取、四五年已前奥向え忍入、兩度二
金三拾八兩程盜取候由。 松平大和守殿

五六年已前長局え忍入、金拾五兩
程盜取候由。 松平左兵衛督殿

当四月廿九日夜奥向え忍入、金八兩
程盜取候由。 小堀織部殿

拾ヶ年已前兩度奥向長局え忍
入、八九年已前三度忍入、都合金貳
拾九兩貳步程盜取候由。 一橋殿御屋形

拾ヶ年程已前秋頃長局え忍入、
金貳兩程盜取候由。 松平陸奥守殿

同年冬頃長局え忍入、金九兩程盜
取候由。 清水殿御屋形

拾ヶ年程已前長局え忍入、兩度二
金壹兩三步程盜取候由。 松平三河守殿

拾ヶ年程已前長局え忍入、金五兩
程盜取候由。 有馬玄蕃守殿

八九年已前長局へ忍入、金三兩程盜取
候由。 尾張殿御屋形

去々寅年中奥向え忍入、金三拾兩
程盜取候由。 小笠原大膳大夫殿

七八年已前奥向え忍入、金拾五兩程盜取候由。 松平甲斐守殿

〔4〕

去々寅年春頃木挽丁中屋敷奥
向え忍入、金三四拾兩程盜取候由。 松平周防守殿

五六年已前木挽丁中屋敷奥向へ
忍入、金七八拾兩盜取候由。 溝口信濃守殿

五六年已前築地中屋敷長局へ忍入
金貳拾兩程盜取候由。 西尾隱岐守殿

三四年已前奥向え忍入、金貳拾兩程盜取候由。
五六年已前奥向え忍入、金百貳拾五兩程
盜取候内、古小判四五兩、是ハ護持院原
之内へ捨申候よし。 加藤能登守殿
榊原式部大輔殿

六七年已前長局へ忍入、金百四五拾兩程盜取候由。 青山大膳亮殿

五六年已前靈岸嶋中屋敷長局奥
向へ兩度忍入、金都合百六拾兩余、拾ヶ年
已前上屋敷長局へ兩度忍入、金八九兩程
盜取候由。 松平越前守殿

六七年已前奥向へ兩度忍入、金貳拾
七八兩程盜取、三四年已前芝新錢座屋
敷奥向長局へ兩度忍入、都合百兩程
盜取候由。 松平肥後守殿

七八年已前奥向長局へ兩度忍入、都合
金四拾貳兩程盜取候よし。 松平備後守殿

三四年已前奥向へ忍入、金七八兩程盜取候由。 平岡石見守殿

〔5〕

四年已前奥向へ忍入、金七拾四五兩程盜取候由。 分部虎之助殿

九年已前長局へ忍入、金貳兩程盜取、
四五年已前奥向へ忍入、金百兩余盜取、
五六年已前砂村抱屋敷長局へ兩度
忍入、都合金五百程盜取候由。 松平大膳大夫殿

三四年已前長局へ忍入、金貳拾五兩程盜取候よし。 永井肥前守殿

去卯年夏頃奥向へ忍入、金拾兩盜取候由。 奥山主税助殿

去々寅年冬頃奥向え忍入、金五拾兩程盜取候由。 阿部能登守殿

六七年已前中の間ト覚忍入、金拾四五兩盜取候由。 稻葉備中守殿

五六年已前奥向へ忍入、金貳拾四兩程盜取候よし。 津輕越中守殿

拾ヶ年已前奥向へ忍入、金八九兩程盜取候よし。 真田伊豆守殿

七八年已前長局へ忍入、金三兩程盜取候由。 戸田因幡守殿

六七年已前奥向長局へ兩度忍入、
都合金五兩程盜取候由。 土井大炊頭殿

六七年已前長局へ忍入、金三步程盜取候由。 土井金三郎殿

〔6〕

七八年已前長局へ兩度忍入、都合金五兩程盜取候由。 牧野越中守殿

拾ヶ年已前浜丁屋敷之節、長局へ忍入、去卯年三月頃同屋敷之節奥向へ忍入、兩度ニ都合金貳拾五兩程盜取候由。 松平伯耆守殿

四五年已前座敷向へ忍入、金貳拾五兩程盜取候よし。 松平和泉守殿

六七年已前長局へ忍入、金壹兩貳步程盜取候由。 松平信濃守殿

三四年已前奥向へ忍入、金四拾兩程盜取候由。 松平伊賀守殿

四五年已前浜丁中屋敷長局へ忍入、金拾兩盜取候由。 水野出羽守殿

六七年已前奥向へ忍入、金三兩程盜取候由。 松浦肥前守殿

六七年已前女中詰所へ忍入、金八兩程盜取候よし。 相馬長門守殿

五六年已前奥向へ忍入、金拾五兩程盜取候由。 石川主殿頭殿

拾ヶ年以前長局へ忍入、金拾兩程盜取候よし。 久世謙吉殿

八九年已前大名小路住居之節、奥向長局へ忍入、兩度ニて都合金百三拾 酒井修理大夫殿

〔7〕

五両程盜取候よし。

六七年已前同屋敷~~北~~節奥向へ
兩度忍入、都合金六拾兩程盜取候由。

四五年已前奥向へ兩度忍入、都合
金六拾七兩金盜取候よし。

三四年已前奥向長局へ兩度忍入、
都合金八九兩程盜取候由。

四五年已前奥向長局へ兩度忍入、
都合金六拾八九兩程盜取候よし。

七八年已前長局え兩度忍入、都合金
六兩程盜取候由。

拾ヶ年已前長局へ兩度忍入、都合金
貳兩余程盜取候よし。

五六年已前長局へ忍入、金貳兩程盜
取候よし。

去々寅年春頃本処三ツ目下屋敷奥
向へ忍入、金三拾兩盜取候由。

八九年已前奥向へ忍入、金七兩程盜
取候由。

四五年已前奥向へ忍入、金拾四五兩
程盜取候由。

八九年已前長局へ三度忍入、都合金

牧野備前守殿

松平阿波守殿

松平土佐守殿

林 肥後守殿

松平豊後守殿

水戸殿御屋形

藤巻和泉守殿

溝口信濃守殿

森 勝藏殿

井上河内守殿

松平讃岐守殿

〔8〕

五拾九兩程盜取候由。

拾ヶ年已前長局へ忍入、金七兩程盜
取候よし。

六七年已前下谷中屋敷長局へ忍
入、金拾兩程盜取候由。

八九年已前長局へ忍入、金貳兩程
盜取候よし。

七八年已前長局へ忍入、金壹兩貳步
程盜取候由。

六七年已前長局へ忍入、金五兩程盜
取候由。

拾ヶ年已前長局へ忍入、金八兩程盜取
候由。

九年已前奥向え忍入、金貳拾兩程
盜取候由。

六七年已前長局へ忍入、都合
金三兩貳步程盜取候由。

拾ヶ年已前一度、七八年已前一度、四五年
已前一度、都合三度長局へ忍入、
都合金六拾兩程盜取候由。

八九年已前奥向長局へ兩度忍入、
都合金拾九兩程盜取候由。

酒井雅楽頭殿

酒井左衛門尉殿

大久保佐渡守殿

大久保加賀守殿

稻葉丹後守殿

加藤遠江守殿

伊藤遠江守殿

細川越中守殿

松平備前守殿

松平安芸守殿

〔9〕

七八年已前長局へ兩度忍入、都合金九兩程盜取候由。

松平肥前守殿

拾ヶ年已前、六七年已前長局へ兩度忍入、都合金七兩程盜取候由。

松平因幡守殿

六七年已前長局へ兩度忍入、都合金七兩程盜取候由。

松平上総之介殿

八九年已前長局へ忍入、金四兩程盜取候よし。

井伊掃部頭殿

八九年已前、五六年已前、都合三度奥向并茶の間等へ忍入、都合金九兩程盜取候由。

佐竹右京大夫殿

去卯年秋頃長局え忍入、金貳拾兩程盜取候由。

南部信濃守殿

四五年已前長局へ忍入、金三兩貳步程盜取、夫より奥向へ忍入、金三拾六七兩程盜取候よし。

本多豊前守殿

三年已前長局へ忍入、金拾貳兩程盜取候由。

酒井石見守殿

三四年已前奥向へ忍入、金拾貳兩程盜取候よし。

堀内蔵頭殿

三四年已前座敷内へ忍入、金貳拾五兩程盜取候よし。

小出信濃守殿

拾ヶ年已前、六七年已前兩度奥

石川中務少輔殿

〔10〕

向へ忍入、都合金拾貳兩程盜取候由。

七八年已前奥向へ忍入、金貳拾五兩程盜取候よし。

新城主殿頭殿

拾ヶ年已前女中詰処へ忍入、金壹步盜取候由。

松平出羽守殿

七八年已前長局え忍入、金壹兩盜取、尚又奥向へ忍入、金五兩程盜取候由。

小笠原佐渡守殿

六七年已前長局へ忍入、兩度にて都合五兩貳步程盜取候由。

上杉弾正大弼殿

六七年已前奥向長局へ兩度忍入、都合金八兩程盜取候由。

有馬兵庫頭殿

六七年以前長局え忍入、金三兩程盜取候由。

松平采女正殿

五六年已前奥向え忍入、金四兩程盜取候由。
七八年已前長局へ忍入、金四兩程盜取候由。

阿部山城守殿

七八年已前長局へ忍入、金四兩程盜取候由。

紀伊殿御屋形

七年已前庭内ニ離家兩戸ヲ押明忍入、金拾兩程盜取候由。

松平大学頭殿

右之通申立候所、是迄年来盜取之儀、残数ヶ所ニ付、前書之廉々盜取候金子之員数多少相違致候義も有之候。且指当り悉覚不申、或ハ忍入候節金子不及盜候者々も多、是又在之

〔11〕

旨申立候二付、一ト通承り、則次郎吉召連、此段
申上候。以上
五月十日

定廻

下ケ
札

■次郎吉儀、八年巳前文政八酉年二月中
■武士方屋敷へ忍入、南御役所へ被捕、同年五月
二日入墨之上、中追放被仰付候所、其後入墨
消致し、御構場所不立去罷在候よしニ御座候